

開発協力の

現場から

ラテンアメリカに広がる日本発の地域警察

山口 尚孝（JICA グアテマラ事務所長）

グアテマラでの地域警察協力

「カルバハルさん、よく来てくれたね。昇進したんだって。当時は本当にお世話になりました。ありがとう。今は夜でも心配なく町を歩けるようになった。あなたたち警察官のおかげです」

チナウトラ市サンタ・イサベル地区コミュニティ開発審議会（自治会に類似する委員会）をカルバハル警部が久しぶりに訪れた時の住民達の言葉である。皆笑顔に溢れていた。警部は同地区管轄警察分署長時代に地域警察手法を根付かせた人物である¹。今は国際協力機構（JICA）地域警察プロジェクトのグアテマラ側チームリーダーを務めている。

グアテマラで JICA は 2008 年からのブラジル研修を皮切りに 2016 年以降、地域警察プロジェクトを展開している。

地域警察は地元の人や組織と連携し、信頼関係を築き、防犯に主眼を置く手法である。地域巡回や戸別訪問、地元組織との会合を重ねていく。グアテマ

ラでの地域警察協力ノウハウはブラジル人専門家に依るところが大きい。JICA 協力を通じて力をつけたサンパウロ州警察からの専門家派遣とサンパウロでの研修を中心に技術指導が行われた。

「ブラジル研修に参加後、住民に笑顔で話しかけ、集会に出かけ、距離を縮める努力をしました。私ができると署内皆もできるようになり我々は市民から信頼される警官になりました」とカルバハル警部は語る。

対象地区での殺人事件数が半減、通報件数が 50% 増加した²。通報件数増加は住民の警察への信頼度の証である。信頼関係が構築されると地域の様々な情報を得ることができ、このことが犯罪の未然の防止や犯罪グループの捜査・摘発・検挙にもつながる。市役所や学校と連携することにより、防犯のみならず、地域行政全体が改善・活性化する好循環が生まれる。

2021 年から現在に至るまで第二期として対象地域や対象警察官数、警察官育成まで協力範囲を広げ、首都圏の 55 の警察分署を対象に地域警察プロジェクトを実施している。研修会や分署での現場指導により地域警察業務を組織に根付かせることが目標である。

ブラジルでの地域警察の取組から中米諸国への展開

ラテンアメリカでの地域警察は日本の対ブラジル協力なくしては語るができない。グアテマラのみならず、ホンジュラス、エルサルバドルを加えた中米 3 か国で 2000 年代から協力が行われてきた。ブラジルが参加する三角（南南）協力である。

1990 年代のブラジル、特に都市圏は深刻な治安問題を抱えていた。犯罪対策は事件が起きたら捜査し、



写真 1：カルバハル警部とコミュニティ開発審議会メンバー
（ダニエル・エルナンデス・サラサル撮影）

銃撃戦もまじえながら犯人を逮捕する対決・対応型手法だった。しかし、1992年のカランジル刑務所暴動鎮圧虐殺、98年のナヴァル地区スラムでの警察による恐喝に代表される事件が相次いだ。これらによりサンパウロ州警察の信頼は地に落ちていた。州政府は地域警察を主眼に置いた警察改革に着手した。カナダ、フランス、米国、日本の地域警察モデルが候補となり、ミッションを各国に派遣した。サンパウロ都市圏が人口密集地であることが日本の都市圏と共通していること、日本では警察官と市民の距離が近い存在であることや交番制度に感銘を受けたことが決め手だったという。

ブラジルからのラブコールを受け、JICAは2000年からサンパウロ州を中心としたブラジルの取組を支援してきた。我が国警察庁の協力で現職警官の長期・短期専門家も派遣され、日本の顔が見える協力が行われた。地域警察を主軸に据えた改革により、サンパウロ州の治安は20年間で大幅に改善した³。

サンパウロ州警察で地域警察導入に主導的役割を果たしたルイス・ジ・カストロ退役警察大佐は「サンパウロ州の治安改善は警察組織改革、人権尊重の徹底、司法改革など一連の取組の成果だが、市民社会に寄り添う哲学に基づく地域警察手法導入が果たした役割はひときわ大きい」と語る。

2008年からJICAとブラジル国際協力庁(ABC)は日本ブラジルパートナーシップ協定に基づき、研修や専門家派遣を対中米諸国に開始した。これらミッションに参加したブラジル警察官たちは「中米諸国は言語、社会、コミュニティの在り方、人との距離感などの多くの点でブラジルと類似している。日本の制度や手法を咀嚼しながらブラジルに地域警察を

導入できた経験や知識を十分伝えられると思った。ブラジルが参加する協力は日本の技術・経験をトロピカリゼーション(熱帯化)し、ラテンアメリカに適用させるものだ」と、口をそろえる。ブラジルも中米諸国も軍政から民政に移管し、人権を尊重する民主的な警察を希求している点も共通する。

中米諸国は2010年代まで、治安の世界ランキングでワースト10常連国であり、警察への信頼・治安回復のために地域警察手法は受け入れやすかった。JICAは中米各国警察幹部に、交番制度の導入により成功しつつあるサンパウロ州警察の事例を紹介した。このことは、「日本の事例は遠すぎるが、同じラテンアメリカの国で成功したのだから、自分たちも地域警察導入により改善できる」と彼らが考えるきっかけになった。

ブラジル流地域警察手法は、市民の信頼獲得のためには現場の発意により何でも行う。地域巡回や戸別訪問等、日本の地域警察の取組だけでなく、地元イベントへの参加、サマースクール開催、サッカー大会開催、町の共同清掃活動、困った人は誰でもパトロールカーに乗せる、街灯の切れたランプ交換、救急車配車が間に合わずパトロールカーが妊婦輸送を引き受ける等、枚挙に暇がない。行き届かない行政サービスを地域警察が貪欲に引き受けることにより、市民の信頼を得ているとも言える。ラテンアメリカ人が本来持つ優しさの実践でもある。これが「地域警察の熱帯化」が意味することなのだろう。

中米での進展

(ホンジュラス、エルサルバドル、グアテマラ)

中米各国での進展を見てみよう。

ホンジュラスでの地域警察の取組が最も古い。1998年に政府の民主化の流れで国家警察が軍から分離された後、より防犯を重視した警察の在り方を模索した結果、地域警察が導入された。2008年にJICA協力によりブラジル研修とサンパウロ州警察からの専門家派遣・現場指導が始まった。

ホンジュラス警察幹部はサンパウロでブラジル版の交番が普及していることに着目した。本庁地域警察局の創設や首都テグシガルパ市内ではフロール・デル・カンポ地区、北西部の最大都市圏サン・ペドロ・スーラ市ではリオ・ブランコ地区で日本・ブラジルの交番を模した警察分署改装と地域警察実践が行われた。大成功。毎週1件ペースの殺人件数がほぼ0



写真2：地域警察はブラジルの他の州にも広がっている。北東部ペルナンブコ州警察の移動式警察ポスト。「交番システム」とベンツ製ミニバンに書かれている(JICA ブラジル事務所提供)

になり、通報件数が増加し、感謝の電話が日常的に入るようになった。

国全体では、地域巡回、戸別訪問を標準業務とし、調査票記入による地域把握、データベースへの入力による警察本部での情報把握、対策分析等を一元的に行えるようになった。

「ホンジュラスでは1998年、2002年、2015年に地域警察を推進する改革が行われ、組織全体が良くなっていたと思っていた。しかし、2004年のマラス⁴対策法や2009年の軍クーデター、2020年のコロナ対策では地域警察政策が後退することもあり、大きな不祥事も度々発生した。我々は大いに反省し、2016年には汚職警官の一掃、警察官教育での人権尊重・地域警察重視、待遇改善など一連の改革を実施した」とエドワード・トゥルシオス国家警察地域警察局長は語った。ホンジュラスは前進と後退を繰り返しながらも、地域警察が組織に定着し、2017年の治安省・国家警察組織法では国家警察は地域警察哲学を体現するものと定められるに至っている。

「2016年にJICA本邦研修に参加したことにより、日本警察の地域警察理論と実践を知ることができ



写真3：エストラーダ地域警察部長。
胸には地域警察バッジが光る
(執筆者撮影)

た。警察官全員を研修させ、地域警察の知見を更新していかないと組織に根付かないと思うに至った。ホンジュラス警察にとり、地域警察手法は治安改善の最強の方策であると断言する」と、サン・ペドロ・スー

ラ管区カルロス・エストラーダ地域警察部長は語っている。エストラーダ部長は本邦研修参加後、2年連続で全国最優秀警察官賞に輝いた人物である。

エルサルバドルでは2008年に他の中米諸国と同様にブラジルでの研修、サンパウロ州警察からの専門家派遣による現場指導を中心とした地域警察協力が開始された。国家文民警察本庁に地域警察課が創設されるに至った。しかし、ブケレ現政権は一斉逮捕・検挙によるマラス撲滅を掲げており、地域警察を推進する動きはない。地域警察に取り組んできた警察官の多くが、地域警察業務から離れている。低調と言える。しかしながら、いくつかの地区では地域警察実践が継続されている。

失業・貧困率が高く犯罪件数も高いサンミゲル県チャペルティケ警察署マリオ・アリアサ警察伍長は中核的人物だ。「管轄する地域はマラスが跋扈し毎日殺人事件が起きていた。警察はなすすべもなく、市民からは嫌われる存在だった。2019年にJICA研修でブラジルの地域警察を視察した。現場警察官が地域巡回や様々なイベントを通じて市民との信頼関係を築いていることに感動した。以前はハンモック職人だった自分はハンモック作りを教えることで住民に近い存在になれると思いついた。最初はJICAプロジェクトで材料購入の支援を受け、40人にハンモック作りを教えた。作ったハンモックは確実に売れた。コロナ禍でもハンモック研修を続け、今では約200家族がハンモック製作・販売で生計を立てている。市役所との連携も重要だ。合同でサッカー大会を開催したり、街灯設置を支援したりしている。地域警察手法により住民の通報や情報把握ができるようになり、犯罪グループは多くが逮捕され、町から犯罪



写真4：エストラーダ部長もモデル事業に関わったリオ・ブランコ警察分署受付。日本・ブラジルの交番を参考に改装されている(執筆者撮影)



写真5：リオ・ブランコ警察分署(執筆者撮影)

が消えた」。貧困対策、雇用創出にまで踏み込んだエルサルバドル地域警察である。

グアテマラに再び戻る。他国と同様 2008 年に地域警察が紹介されたものの、比較的低調だったが、2016 年から JICA 技術協力プロジェクトが始まり、むしろ現在が伸び盛りと言えよう。

2022 年 11 月に治安政策を管轄する内務省次官、国家文民警察副長官からなる政府高官が地域警察プロジェクト招聘により、ブラジルを訪問した。帰国直後からグアテマラ国家文民警察に地域警察総局を創設する動きに繋がっている。フランコ次官によると「ブラジル訪問のお陰で地域警察はグアテマラの治安改善に有益な哲学・手法であることを確かめることができた。来年 8 月に総選挙があり、2024 年 1 月には新政権が発足する。その時には我々は確実に離任する。だからこそ、政策面を含めて政権交代にも耐え得る地域警察を今のうちに組織に根付かせたい」。

地域警察協力から見えてくること

日本の知見をブラジルに移転、ブラジルで成功・定着した知見が更に他のラテンアメリカ諸国に伝えられている。日本が世界に誇る無形価値「安全」を広めている点も併せてラテンアメリカにおける技術協力のフラッグシップである。「交番」は国際的に通じる単語である。どの国でも市民安全は政権を超えた重要政策であることも、我が国地域警察協力が受け入れられた根底にある。

地域警察はその名の通り、地域に入っていく。この過程で、地域の雇用、貧困、教育や青少年育成、家庭内暴力、ジェンダー等の問題も見えてくる。JICA にとり、国の実情を理解するのに役立つだけでなく、さらなる協力余地も生まれる。

ブラジルでの協力展開、成功から中米への三角協力を至るまで、10 年程度の歳月がかかっている。国際協力により、内発的に動機づけられ、意識変革が起こり、技術定着と組織改革が起きるまでに相応の時間がかかることは想像に難くない。小さな成功を重ね、示しつつ、長期的に取り組むことの重要性も本協力から導き出される。

謝辞：本稿執筆にあたり、グアテマラ国家文民警察、ブラジル連邦公共治安省、サンパウロ州警察、ホンジュラス国家警察、エルサルバドル国家文民警察、JICA 本部及び関係国事務所、技術協力プロジェクト

関係者には訪問・面談を通じて多大な支援を受けた。紙面制約から個人名は挙げられないが、この場を通じて感謝申し上げる。

参考情報リンク

ブラジル地域警察活動プロジェクト

https://www.jica.go.jp/publication/mundi/1801/201801_05.html

ホンジュラスにおける地域警察：二人のキーパーソン

<https://www.jica.go.jp/honduras/office/others/interview/20220117.html>

住民と警察で治安のよい地域に エルサルバドル

https://www.jica.go.jp/publication/mundi/202003/202003_07.html

グアテマラ地域警察プロジェクト フェーズII(2021～2026年)

<https://www.jica.go.jp/guatemala/office/activities/project/08.html>

- 1 警察分署 (Subestación)：日本の交番より大きく、10～40人が24時間常駐する。
- 2 プロジェクト実施中の2017年と19年の比較で対象の2市4地区で殺人事件数は125から49に減少。犯罪通報件数は2016年の約4000件から2019年には8000件に増加した。
- 3 サンパウロ州での10万人あたり殺人発生率は1999年の35.27から2021年6.04まで減少した。
- 4 中米におけるギャング集団の総称。狭義ではカリフォルニア州で形成されたエルサルバドル人犯罪集団が、エルサルバドル本国に強制送還され、支部として同国で組織化を進めたいくつかのグループを表す。ホンジュラス、グアテマラにもマラスは広がっている。

(やまぐち なおたか 国際協力機構 [JICA] グアテマラ事務所長)

